

有馬高校 脱炭素教育 実施概要

参考 令和6年 10 月 24 日

「総合的な探究の時間」の全体のガイダンスの中で脱炭素をテーマとして紹介

1 日目(令和6年 11 月 7 日)

	配分(分)	内容
1コマ目	10	脱炭素教育全体のガイダンス・「気候変動のミステリー」のガイダンス
	45	グループワーク① ミステリーを実施
		終了

※模造紙は廊下などに貼り出し、加筆・修正、生徒間での説明などが可能な状態にしておくこととした。

2 日目(令和6年 11 月 14 日)

※準備 各グループに自分たちが作ったミステリーの模造紙を配布

	配分(分)	内容
2コマ目	10	発表準備・ガイダンス
	30	発表(3 分×8 グループ)
	15	レクチャー① ミステリーを解くメッセージは？ 気温上昇、影響、メカニズム、脱炭素 緩和と適応
		終了

3 日目(令和6年 11 月 21 日)

※脱炭素に関する知識習得 オンデマンド教材 2 本

	配分(分)	内容
3コマ目	5	以降の進行についてガイダンス
	15	レクチャー： エネルギーと私たちの暮らし (1) エネルギーの供給から需要までの構造を知る (2) 脱炭素化を進める対策 (3) 対策①エネルギー供給側における脱炭素化
	10	学んだことをグループで共有
	17	レクチャー： エネルギーと私たちの暮らし (4) 対策②エネルギーの需要側における脱炭素化 家庭生活 移動と輸送 施設やビル
	5	学んだことをグループで共有
	3	次回に向けたアナウンス
		終了

4 日目(令和6年 11 月 28 日)

※脱炭素に関する知識習得 オンデマンド教材1本 + 探求で取り組むテーマの検討

	配分(分)	内容
4コマ目	5	ガイダンス
	15	レクチャー: エネルギーと私たちの暮らし (4) 対策②エネルギーの需要側における脱炭素化 産業 (鉄、化学・プラスチック) (5) 体系的な施策の構築
	30	グループワーク: 「有馬高校生として 脱炭素社会をつくるために やりたいことを考えよう」 自分の行動を変えることなく、 地域や社会を脱炭素にむけて動かす取り組み
	5	次回の説明など (「SDGs QUEST みらい甲子園」の応募スライドを作る)
		終了

5 日目(令和6年 12 月 5 日)～11 日目(令和7年 2 月6日)まで

※グループワーク:「自分たちは何に取り組むか」を考えパワーポイント資料作成、発表

	日程	内容
5 コマ目	12/5	グループワーク:「SDGs QUEST みらい甲子園」の応募スライドを作る 「有馬高校生として 脱炭素社会をつくるために やりたいことを考えよう」
6 コマ目	12/19	企業の事例学習①: レンブラントホテル
7 コマ目	1/9	グループワーク: 「有馬高校生として 脱炭素社会をつくるために やりたいことを考えよう」
8 コマ目	1/16	グループワーク: 発表準備
9 コマ目	1/23	企業の事例学習②: コカ・コーラの工場見学
10 コマ目	1/30	発表: (5 分発表 3 分質疑応答)×4 グループ
11 コマ目	2/6	発表: (5 分発表 3 分質疑応答)×4 グループ
参考	2/20 2/27	(各クラスに戻ってクロステーマで発表)